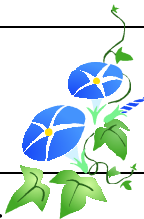


# 黒木小だより

No. 4



大村市立黒木小学校  
令和4年7月15日（金）  
校長 赤木章二

## 7月・8月は 平和を祈る月です

今年、観測史上最も早い梅雨明けでしたが、晴天の日が少なく、台風4号接近による臨時休業等もあり、なんだかすっきりしない日が続きました。また、連日のように熱中症警戒アラートが発令され、昼休みに外で元気に遊ぶこともできない状況が続きました。これから始まる夏休みも、暑さが厳しくなると思われますので、子どもたちにも暑さ対策についてしっかり話し、楽しい夏休みを過ごせるよう指導していきます。

さて、黒木小学校では7・8月は平和を祈る月としています。現在、世界情勢を揺るがすウクライナとロシアの問題であったり、日本でも安倍元首相の銃撃事件が起こったりしています。平和で安心できる世の中ではないことに心が痛みます。8月9日の平和集会では、平和に関するDVD視聴や平和学習に取り組んだ感想や学びを発表します。平和について、しっかりと考えていきます。

また、今年も玄関に七夕の願い事を結びました。そこには「みんなと、仲良く生活できますように」「家族がずっと健康でいられますように」など、身近な平和を願う言葉がありました。

学校教育目標である「ふるさとを愛し たくましく生きる 心優しい子どもの育成」を目指し、これからも子どもたちの指導にあたっていきます。



## 授業参観（水泳納め会）

7月13日の授業参観には、たくさんの保護者の皆様にご来校をいただきありがとうございました。

今回は、水泳学習の様子を見ていただきました。天候不良等で練習回数が少ない中での実施となりましたが、子どもたちはよく頑張り、練習の成果を保護者の皆様に見ていただくことができました。また、後半には着衣泳にも取り組みました。子どもたちは、不慮の事故に遭遇しても、慌てず命を守る行動ができるようにと真剣に取り組むことができました。



## ろう学校との交流

6月30日（木）に県立ろう学校に出向き、交流会を実施しました。全体で出合いの集会をした後、低・中・高学年に分かれて活動をしました。自己紹介や劇、ゲーム、学校探検、学校施設の説明など、様々な交流ができました。久しぶりに会えたこともあり、少し緊張気味なスタートでしたが、徐々に仲良くなり、楽しく活動ができました。2学期以降も交流を深める予定です。



## 黒木太鼓に拍手喝采！

6月19日（日）に開催されました、全九州カラーガード・パーカッションコンテストに、黒木太鼓がゲスト出演しました。このコンテストには、小学生から一般の方まで多くの方が出場されていました。会場はシーハットおおむらメインアリーナで、とても広い会場での演奏となりましたが、子どもたちは、最後まで堂々と演奏することができました。演奏後には、会場のみなさんから、大きな拍手をいただきました。この経験は、子どもたちにとって、大きな自信となりました。このような機会をつくっていただいた関係者の皆様、保護者の皆様に深く感謝申し上げます。



## 「小さな幸せプロジェクト！」

登校途中に毎朝のように四つ葉のクローバーを見つけて、友達や先生方にプレゼントしてくれる子どもたちがいます。みんなに幸せになってもらいたいという思いから、続けていたようです。そこで、読書が好きな黒木小のお友達に、集めた四つ葉のクローバーを葉にして、みんなにプレゼントしようということになりました。何人かのお友達にも手伝ってもらい、ようやく葉が完成しました。友達のことを思いやることのできる素敵な心に感動させられました。こんな子どもたちが、どんどん増えることを願っています。



## 7月行事予定

- 20日（水）1学期終業式
- 21日（木）
- 22日（金） } 学習サポート会
- 25日（月） } 8:00～10:00

## 8月行事予定

- 9日（火）平和集会  
(給食なし) 11:10 下校
- 10日（水）～18日（木）  
学校閉庁日
- 26日（金）2学期始業式  
(給食なし) 11:10 下校
- 29日（月）～31日（水）  
午前中授業  
(給食あり) 12:40 下校
- 29日（月）～31日（水）  
夏休み作品展（図書室）

## 【萱瀬地区学校支援会議】

7月7日（木）に第1回萱瀬地区学校支援会議を行いました。この会議は、家庭・学校・地域社会が一体となって、連携・協力しながら学校教育をサポートし、地域の環境づくりと子どもたちの健全育成を目的とするものです。萱瀬地区の町内会長、駐在所、社会福祉協議会、主任児童委員、各校の学校評議員・PTA会長・校長・教頭が集い、学校紹介や小中連携の取組、今年度の取組等を話し合いました。また、コミュニティ・スクールについては、令和6年度からのスタートを目指して、今年度から少しずつ取り組み始める予定です。